

目次

1. ご挨拶

2. CWAJ からのお知らせ

- * 第 66 回 CWAJ 現代版画展 Gemma Fujitani(ジェンマ・ふじたに)
(第 66 回 CWAJ 現代版画展担当)
 - * ハンズ・オン・アートへのお誘い 半田(はんだ) こずえ
(ハンズ・オン・アート担当)
 - * CWAJ 奨学金制度/視覚障害学生募集について 田中紀子(たなか のりこ)
(奨学金委員会担当)
- ### 3. エッセイ「ブラインドダンスに魅せられて」 河野 徹(かわの とおる)

4. 編集後記

*ここから記事に入ります。

1. ご挨拶

皆さんこんにちは。暑い暑い夏！今もまだ終わっていませんけれども、皆さんお変わりなく、元気にお過ごしでしょうか？

そんな暑さの残るなか、VVI Newsletter 秋号をお届けします。この号は、毎年 10 月に開かれる「CWAJ 現代版画展/ハンズ・オン・アート」のご案内、またこれも毎年恒例の CWAJ 奨学生募集のお知らせ、また VI Friends のおひとりで、ブラインド・ダンスを長く楽しんでおられる、河野 徹(かわの とおる)さんのご寄稿を掲載しました。今年 5 月に競技会に参加された折の写真も、解説つきで入れています。長文ですが、ご本人の声が聞こえるような、魅力たっぷりのエッセイをどうぞお楽しみください。

2. CWAJ からのお知らせ

A. 第 66 回 CWAJ 現代版画展

Gemma Fujitani (ジェンマ・ふじたに)
(第 66 回 CWAJ 現代版画展担当)

10 月 18 日水曜日 11 時に開幕します。会期は 22 日日曜日午後 5 時まで。あわせてオンラインの展示販売もあります。美術のお好きな皆さんには、会場でもオンラインでも、日本の現代版画作品をご鑑賞や購入いただく絶好の機会です。

この CWAJ 現代版画展は今年 66 回を迎えますが、厳正な審査によって選ばれた様々なスタイルや技法による、ベテランから新進気鋭の 206 名(うち 27 名は新人)作家による、210 の多様な作品が出展されます。

版画展の純益は全て、視覚障害学生を含む CWAJ 奨学金や教育プログラムに充てられます。

またこの版画展独特の活動として、視覚障害のある皆さんが作品を手で触れて鑑賞できるハンズ・オン・アートが、今年も開かれます。

ウェブサイト：<https://cwaj.org/print/find-us-at-print-show/>

オンライン・ギャラリー URL: <https://cwaj.gallery.jp>

以下に、ジェンマ・ふじたにからのメッセージのオリジナル英文を掲載します。

The College Women's Association of Japan (CWAJ) will open the 66th CWAJ Print Show on Wednesday, October 18, 2023, at 11:00 am. This show and sale will be held through Sunday, October 22 at 5:00 pm. An online gallery will also be available. All art lovers are invited to view and purchase contemporary Japanese print art at the in-person show or online gallery.

The CWAJ Print Show, now in its 66th year, is a prestigious juried exhibition and sale of contemporary Japanese prints encompassing a wide range of styles and techniques by both well-established and up-and-coming artists. Prices range from 5,500 to 450,000 yen. Don't miss this opportunity to view 210 beautiful contemporary Japanese prints by 206 prominent artists. This year's show also includes a total of 27 new artists.

All net proceeds from this exhibition and sale will go toward funding CWAJ Scholarship and Education Programs.

The 66th Print Show will include the annual Hands-on Art exhibit, CWAJ's unique program that transcribes prints exhibited at the show into touchable images for visually impaired attendees.

Website: <https://cwaj.org/print/find-us-at-print-show/>

Online Gallery URL: <https://cwaj-gallery.jp>

英文はここまでです。

B. 第 66 回 CWAJ 現代版画展ハンズ・オン・アートについて

半田 こずえ

(ハンズ・オン・アート担当)

今年、「ハンズ・オン・アート」(Hands-on Art)では、二つのプログラムを用意しています。

一つは、これまで通り CWAJ のボランティアと一緒に版画を鑑賞していただくプログラムで、10月21日(土)を除く期間中全日程で行います。

もう一つは、版画を制作する道具などに触れながら版画の魅力を感じていただくワークショップで、10月21日(土曜日)の午前と午後1回ずつ開催します。

是非、お好きな方を選んで、会場に足をお運びください。また、これまでではご案内していませんでしたが、現代版画展の会場では、すてきな版画が印刷されたトートバックやカードなどを販売しています。売り上げの純益は、すべて視覚障害学生を含む CWAJ 奨学金のために使われます。皆様の中に、ご関心のある方がいらっしゃいましたら当日お知らせください。

9月初めに皆様のもとに、詳しいご案内のメールをお送りいたしますので、来場ご希望の方は、事前にお申し込みをお願いいたします。連絡先は、VI コンタクト:vvi-event@cwaj.org です。

C. CWAJ 視覚障害学生奨学生募集

田中 紀子(たなか のりこ)

(奨学金委員会担当)

CWAJ 視覚障害学生奨学金は 1978 年に設立された、日本で最初の視覚障害者を対象とした給付型奨学金です。2024 年度の募集は以下のとおりです。

<CWAJ 視覚障害学生国内奨学金>

日本国籍あるいは日本国特別永住権を持つ視覚障害のある学生で、2024 年度に日本の大学・大学院で

勉強する方を対象に奨学生を募集します。

募集人数:2名

支給額:各100万円

出願期間:2023年10月30日(月曜日)ー11月9日(月曜日)

詳細は以下でご確認ください。

視覚障害学生国内奨学金 - CWAJ

<https://cwaj.org/jp/scholarship/scholarship-visually-impaired-to-study-in-japan/>

<CWAJ 視覚障害学生海外留学大学院奨学金>

日本国籍あるいは日本国特別永住権を持つ視覚障害のある学生で2024年度に海外の大学院等へ留学を希望する方を対象に奨学生を募集します。

募集人数:1名

支給額:200万円

出願期間:2023年10月30日(月曜日)ー11月9日(月曜日)

詳細は以下でご確認ください。

視覚障害学生海外留学大学院奨学金 - CWAJ

<https://cwaj.org/jp/scholarship/scholarship-for-the-visually-impaired-to-study-abroad-svi-sa/>

2つの奨学金とも、奨学生は学業成績、研究課題の質と実現性、社会貢献への可能性を基準に選考され、年齢や専攻分野についての制限はありません。

2023年度は、CWAJ 視覚障害学生国内奨学金において2名の奨学生を選出しました。お二人のプロフィール等はCWAJのウェブサイトにてご覧いただけます。

<https://cwaj.org/jp/scholarship/2023%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E5%A5%A8%E5%AD%A6%E7%94%9F/>

2024年度もすばらしい応募者の方々に出会えることを楽しみにしております。

3. エッセイ 「ブラインドダンスと共に」

こんにちは、河野 徹(かわの とおる)です。

私は糖尿病性網膜症と緑内障のため失明した中途障害者です。眼が悪くなってから十数年が経ちましたが、言い訳せずに晴眼者と同じような生活を目指し、努力しています。

今回のVVIニュースレターでは、視覚障害になってからのブラインドダンスとの関わりについて書きたいと思っています。

自己紹介 まずは趣味について簡単に紹介します。

① 海外ロングステイ

定年退職後、夫婦で2009年に台湾・インドネシア・マレーシアでのんびりした南国の生活を楽しんだことから、私の海外ロングステイの経験が始まりましたが、最近では2019年夏に久しぶりにインドネシアのバリ島に2か月ステイしました。しかし、その後はコロナのため行く機会がなくなってしまいました。

② ブラインドダンス

私は健康維持のため、日曜日に船橋の公民館で行われるブラインドダンスサークルに参加しています。そこでワルツやタンゴを踊っています。2012年春からはさらに技術の向上を目指してダンス競技会にも参加しています。優勝したこともあります、最近では下位になることが多くなりました。

1. 視覚障害になって

60歳 定年の少し前に糖尿病による眼底出血と緑内障で、視野がまだらな弱視者になってしまいました。退院後は会社で音声認識ソフトと拡大読書機を使って仕事をはじめました。会社では視覚障害者は初めてだったので機器の申請や購入手続きなどは自分で行いました。千葉県の障害者ワークショップで週に1回の個人レッスンを受け、音声認識ソフトの勉強をしました。1年半ほど会社で普通に働きましたが、他の人々に迷惑をかけることもあったので、定年延長はせずに60歳で退職しました。

2. 運動不足の解消

退職後はほぼ毎日が日曜日です。視覚障害者にとって運動不足の対策は重要ですが、楽しくなければ続きません。そこで私は社交ダンスを思いつきました。

フォークダンスは中学時代に、簡単に女性の手を握ることができる良い方法だと思いました。高校時代にはフォークダンスで白百合、女子学院、雙葉など有名女子高の文化祭を楽しみました。大学では舞踏研究会に入会していましたが、センスのなさや練習嫌いのため上達することはありませんでした。

3年生の時六大学戦でセミファイナルがやっとでした。

卒業後は社交ダンスから遠ざかっていましたが、このタイミングで30余年ぶりに再開したいと思いました。

私が住んでいる茂原市周辺ではブラインドダンスを行っているサークルはありません。しかし、船橋に「ブラインドダンス・サークル・しん」を見つけました。

3. 「ブラインドダンスサークル・しん」

このサークルは1980年代に創設され、2009年には、コーチ、ボランティア、障害者メンバー合計で20人程度の会員がいました。2010年には5年ぶりのパーティを公民館の講堂で開催しました。1年間以上の厳しい練習を行い、ワルツとタンゴの4組のフォーメーションダンスを披露しました。視覚障害のため、間違った方向に踊ることもありましたが、パーティ当日は見事に成功し、皆さん大変満足していました。残念ながら、その後はフォーメーションダンスを行う機会はありませんでした。2010年秋には初めて競技会に参加するカップルが現れました。

4. ブラインドダンス競技会

ブラインドダンス競技会は2006年に世界で初めて開催され、24時間テレビでも放映されましたので、ご覧になった方もおられるでしょう。南ちゃんや勝俣、ゴルゴ松本、大沢あかねなどの芸能人が、視覚障害者とカップルを組んで楽しそうに踊っていましたね！

現在、ブラインドダンス競技会では春・秋のイーストジャパン戦、全日本戦のほか、東京都のJDSF戦、バルカーカップ、チャオカップなどのダンス競技会が開催されています。これらの競技会はプロやアマチュアのダンサーとともに、障害者は招待され、エントリー費用なしで参加できます。

ブラインドダンスに関して最も功績のある人物は、吉野ゆりえさんです。彼女はブラインドダンス委員会の事務局長として献身的にご尽力されました。2016年7月30日、腹膜肉種のため亡くなりました。48歳という若さでの訃報は非常に残念です。

彼女はよく競技前に控室に現れ、選手たちに励ましの言葉をかけてくれました。私は全日本戦のパーティー

タイムに彼女に踊ってもらったことがあり、そのときはとても嬉しかったのを今も覚えています。

吉野ゆりえさんの略歴をご紹介します。彼女は大分県竹田市出身で、1968年生まれです。筑波大学第三学群国際関係学類を卒業し、元ミス日本でもありました。また、ロンドン・インターナショナル選手権のライジングスターチャンピオンでもあります。著書には『いのちのダンス～舞姫の選択～』、『3600日の奇跡』があります。サピエ図書館でも閲覧できますので、良かったらご覧ください。

5. ブラインドダンス競技会の現状

「ブラインドダンスサークル・しん」は頑張っています。サークルの総勢は30名程度で、競技会に参加するだけのボランティアパートナーも多数います。競技会には8組から10組程度のカップルが参加し、名実ともに日本一のブラインドダンスサークルです。様々な方々にお世話になっていますが、特に「学連(全日本学生舞踏連盟OB・OGサロン)」には大変お世話になってます。この団体は全国の大学で競技ダンスを目指しクラブ活動を行っていたOB・OGたちで構成されています。「学連」は約30年前から毎週土曜日に都内の公共施設でダンス活動を行っています。シニアの参加者が多いですが、50名から100名のOB・OGが集まり、レベルの高い練習をしています。約10年前から、日本で開催される国際的なダンス競技会の直前に、世界チャンピオンやファイナリストに2時間程度の技術指導とデモをおねがいしています。この時は150名から200名の人々が集まります。格安でお願いしているので、たった2000円で世界チャンピオンクラスのパフォーマンスを目の前で見ることができるのは非常にお得です。私も眼が見えたらとため息が出ます。

今年2023年は8月12日の練習会で昨年の全英選手権、WDC世界選手権のチャンピオン、ヴァレリア・コントラーニ&アンナ・デミドヴァ組の講習会が開催されました。

6. 直近のブラインドダンス競技会

2023年5月6日に第3回チャオカップダンス競技会が成城学園で開催されました。

この競技会は、法政出身のプロである成田雅延さんが主催している新しい競技会です。そのため、さまざまな斬新な企画が行われています。参加者はプロが無料でパートナーとしてカップルを組み、競技することができます。通常、ブラインドダンスではワルツ、タンゴ、ルンバ、チャチャの4種目がありますが、今回はスローフォックス・トロットが追加されました(前回、私が希望して実現しました)。また、なるべく多くのカップルが表彰されるシステムが採用されています。

私も今回初めて若い女性プロにパートナーをお願いしました。彼女は30代のA級のプロで、技術は抜群です。特に彼女のラテン衣装は素晴らしいです！若さと自信があり、見事な姿です。私自身は見ることはできませんが、友人に写真をメールで送ったところ、とても喜ばれました。

7. 最後に

競技ダンスを再開してから10数年が経ちましたが、最近はやっと疲れが出てきています。

もう後期高齢者になったので、そうなるのも当然ですね。つい先日、5月22日に帝国ホテルで大規模な宴会が行われました。大学卒業50周年の会が3年延期されていたためです。予想以上に600人以上の参加者が集まりました。応援団のブラスバンドの演奏のもと、塾歌も半分覚えていて、みんなで大声で合唱しました。最後に、仲間たちと肩を組んで「若き血」を歌いました。いつもながら、素晴らしいものですね、もう少し、休みながらでも、ダンス活動を続けていく元気ができました！

「長文にお付き合いいただき、ありがとうございました。」

《この後、競技会の折の写真を2枚入れてみました》



写真①（左側）



写真②(右側)

写真の説明

写真① 1部では、河野さんは白いブラウスと黒のズボン、パートナーのコスチュームは、右半分は黒のかかとまでのロングで、左側はきらきら銀色に光る腰までの長さ。横に並んで手をつなぎ、静かにラテンのステップを踏み出したところでしょうか。

写真② 2部では、河野さんは燕尾服！真剣な表情です。パートナーの方も黒のロングドレス。左の肩が抜けていて、腕は河野さんの肩に乗っています。ぴったりと体を合わせて踊られています。

4. 編集後記

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

河野さんのエッセイはいかがでしたか？ブラインドダンス、始めてみたい！と思われたのではないのでしょうか？私自身、会場にうかがって河野さんやたくさんの参加者皆さんのダンスを拝見しました。しっかり背中を伸ばして、パートナーと合わせてステップを踏んだりぐるぐる回ったりされて、緊張はされながらほんとうに楽しそうでした。応援の皆さんの拍手や笑顔が会場いっぱいにあふれていました。

記事中でもご案内していますが、第66回 CWAJ 現代版画展が、昨年同様、渋谷区代官山のヒルサイド・テラスで開かれます。今年は参加いただく日にちが広がります。是非お時間を見つけて、会場にお越しください。VVIのメンバー、そして版画展担当者、CWAJのみんなでお待ちしています。

編集：石井ふみ子(いしい ふみこ)

配信：本村 理子(もとむら みちこ)

